

令和5年度 第1回 基町地区活性化推進協議会 議事要旨

1 **開催日時** 令和5年6月14日（水） 19時00分～19時52分

2 **開催場所** 基町中央集会所（中区基町19-6）

3 **出席委員等**

徳弘委員、瀬戸口委員、中村委員、本田委員、山本委員、藤井委員、堀内委員、内田委員、塩谷委員、岡谷委員、外垣委員、金羽木委員

※植田委員は欠席

4 **議題** (1) 座長等の選任について

(2) 基町地区活性化計画の概要について

(3) 基町地区活性化計画に掲げる取組の進捗状況の把握について

5 **会議資料** 資料1 基町地区活性化計画

資料2 基町地区活性化計画に掲げる取組の進捗状況の把握について（案）

6 **公開・非公開の別** 公開

7 **傍聴人** 一般 0人

報道関係者 2人

8 **発言の要旨**

【開会】

【開会挨拶】 塩谷都市整備局住宅部住宅管理・基町地区活性化担当部長

【議題(1)「座長等の選任について」】

- ・ 本協議会の座長に徳弘委員が、副座長に瀬戸口委員と塩谷委員が選任された。
- ・ 座長の職務を代理する副座長の順序について、第1順位を瀬戸口副座長、第2順位を塩谷副座長とすることとされた。

【座長挨拶】 徳弘座長

【議題(2)「基町地区活性化計画の概要について」及び議題(3)「基町地区活性化計画に掲げる取組の進捗状況の把握について」】

【議題資料】

- ・ 議題(2)「基町地区活性化計画の概要について」を資料1により事務局説明
→ 委員意見なし。

- ・ 議題(3)「基町地区活性化計画に掲げる取組の進捗状況の把握について」を資料2により事務局説明
→ 取組の進捗状況の把握のための資料様式等に係る案について、委員意見なし。了承された。

【協議会の開催頻度等に関する意見】

[中村委員]

- ・ 次回の協議会はいつ開催するのか。(事務局：半年後を考えている。) 間が空きすぎではないか。取組の中には済んでいるものと進行中のものがあり、数字もすぐ出せると思うので、早めに次回の会議を開催して具体的な内容を詰められる状態を作りたい。
- ・ 情報共有が大切であるが、例えば、若年層の入居者数についても、地元では毎月把握できていない。毎月行われている入居の関係など、都度、整理し報告をしてもらえれば、情報共有が図られ、地元の方も理解できる。

[本田委員]

- ・ 話を聞くだけで終了となる会議ではなく、基町が抱える問題は多いので、毎月の連合自治会に報告できるよう、協議会は毎月開催してほしい。
- ・ 開催に向けての準備というのが分からない。こちらの問題を1度の会議で全部言い切れないし、会議終了後に思い出す事案もある。その都度状況の確認ができれば連合自治会に報告できるし、報告を受けると自治会活動も活発化すると思う。3か月ごとや半年ごとでは話をするだけで終わってしまう。コロナ禍で協議会が開催できていなかった分、加速していかないといけない。
- ・ 時間が足りないので、3か月に1回であれば、忘れていたことを思い出すため、休憩をはさんで4時間、5時間会議を行う覚悟が必要である。我々は解決したものを聞きたいわけではなく、途中経過を知りたい。形式的に、「やっています」というのを10数回やっても、半年に1回だと何も変わらない。時間は1時間でも1時間半でもいいが、毎月開催は譲れない。委員が2/3しか集まらなくても、話をすれば連合自治会にも話ができるし、社協にも話ができる。準備が必要ということがよく分からない。
- ・ この協議会に興味を持っている人はいるが、今日開催することが伝わっていないので誰も傍聴に来ていない。事前に決まっていればお知らせを貼り出すなりするべきだ。無人の傍聴席は形を整えただけだ。

[内田委員]

- ・ 委員の任期は2年ということを知っている。活性化計画の内容は充実しているが、半年に1回の会議でこの取組ができるのか。
- ・ 工程表を作って、それに沿って進めた方が良いのではないか。
- ・ 手順できちんとしたKPI (Key Performance Indicator : 重要業績評価指標) を作って示されているので、工程表も見えるようにした方が、さらに活用できるようになると思う。

[堀内委員]

- ・ 住民は、「市は融通が利かない、言ってもよくわかってもらえない」と思っている人が多いので、その橋渡しができればと思い、委員を引き受けた。仕事などで忙しいと思うが、どれだけお互いに話をすることが重要と考えており、「何か聞いてくれた」、「これが通った」という話をできるような会にしたいと考えている。そのためにも、ZOOMといったツールを活用するなどして、どのような形でもいいので月1回開催してほしい。

[徳弘座長]

- ・ 基町には他の会議がたくさんあるので、調整しながら運営をお願いする。会議が多いのは本当なので、行政も地域と話し合いの上で調整して開催してほしいと思う。
- ・ 今日の内容を持ち帰って、対応について事務局から報告を受け、それを連合自治会で報告すれば全員の耳に入ると思う。
- ・ 今日は第1回であり、今後「こういうことをやるんだ」ということを皆さんにお伝えする回である。
- ・ まだまだ意見もあると思うが、話し合いがこの推進協議会1つで済むこともあり、本田委員が言ったことも、内田委員が言ったことも大変いいことだと思うので、これを市として持って帰り、いろいろな別の会で取り上げていけばよいと思う。

[外垣委員]

- ・ 次回開催が半年後というのは目安であり、準備が早くできるのであれば、相談して開催時期を決めてよいと思う。
- ・ 資料2にある表の「実施状況」「目標達成状況」「課題と対応」を埋めていただく必要があるため、月1回というのは難しいと思う。我々も半年に1回しか開催しないとかではなく、必要に応じて調整して開催できればと考えている。

[塩谷副座長]

- ・ 推進協議会は、取組を進めていくことについて、いろいろな意見を言える機会でないといけない。回数は毎月や3か月や半年ということではなく、いろいろな取組がある中で、お互いにこれが必要ではないかという時期に合わせて開催を提案し、取組の中身にスポットを当てて話し合いを行った方がいいのではないかと。連合自治会で報告の内容が薄いと、逆に協議会で何をしているのかということにつながりかねないので、実のある意見交換ができるように考えていけばいいと思う。
- ・ 推進協議会という枠組みができたので、情報共有の場としても活用するのは意義があると思う。やり方については少し検討させてほしい。

【その他意見】

[本田委員]

- ・ 40、50年前から市営住宅の収入基準が全く変わっておらず、高収入な入居者が退去しなければならないのが問題だ。収入基準を変更したり、収入基準を無くしたりしないと、基町を生き返らせるとか、活性化するというにはならないと思う。
- ・ 市からのお知らせは、管理事務所に掲示板を設置し、そこに掲示するなどして、基町の事はそこに行けばわかるというようなこともしてほしい。
- ・ 特例的入居者がオープンスペースの清掃や自治会定例会の会場設営を行っているが、活動としては的が外れていると思う。まず、特例的入居者は自治会に加入させるべきで、そこからは自治会が頑張ると思うし、自分達も頑張る。そして、盆踊りや町民体育祭が今後開催されると思うが、特例的入居者にとっては気持ちの負担になっているだけだと思う。

【徳弘座長】

- ・ 基町地区は少子高齢化が進展し、収入制限もある上、外国人の入居も多い。市営住宅は基町だけではないので、公募や入居の承認の際にうまく分散させてほしい。でないと、基町は高齢者と外国人ばかりが集まることになり、自治会の役員の成り手がいない。活性化について行政と一緒に話す地元メンバーも決まっているし、若い者は基町に入ってこれない。今日の意見を吸い上げて、基町でこのような意見が出ているということを市長に話してほしい。この会議を通じて、地域住民の声を吸い上げていただき、行政と一緒に話をしたいと思う。次回もいろいろな意見が出ると思うが、行政と地域住民が仲良く話をし、行政からはわかりやすい説明をしてほしいと思う。
- ・ 今日は初めてなのでいろいろな意見が出たが、今後の参考にして、素晴らしい会にしたいと思う。

【事務局との調整に係る地域の窓口】

次回以降の開催に向けて、事務局との調整を図る地域の窓口は、中村委員とされた。

【閉会】